

# 会 議 録

第 2 0 回定例会

開会 平成 3 1 年 2 月 2 8 日

## 教育委員会会議録

1 開 会 平成31年2月28日 午後1時30分

2 閉 会 平成31年2月28日 午後2時40分

### 3 教育委員会出席者

教育長	美馬 持仁
委 員	辻 貴博
委 員	藤本 宗子
委 員	河口 雅子
委 員	菊池 健次

### 4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	勢井 研
教 育 次 長	青山 佳裕
教 育 次 長	竹内 敏
教 職 員 課 長	藤川 正樹
教 育 文 化 課 長	木野内 敦
文化の森振興本部企画振興部長	森吉 雅史
総合教育センター所長	大西 豊
教 育 政 策 課 長	臼杵 一浩
教 育 政 策 課 副 課 長	木下 淳子

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 2月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

[議 事]

教育長 議案第67号及び協議事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第68号 徳島県文化の森総合公園文化施設の観覧料及び使用料徴収規則の一部を  
改正する規則について》

教育長 説明を求める。

文化の森振興本部企画振興部長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

辻委員：元々の金額はどのように算定したのか。

企画振興部長：他館での設定状況，商品そのものの価値により算定している。

河口委員：あまり金額が上がっていないようだが。

企画振興部長：消費税が8%から10%に上がることに伴う2%の上げ幅かつ，10円未満切り捨てのため，金額はそれほど上がっていない。

辻委員：講師用机は上がっているが，花台は上がっていないがなぜか。

企画振興部長：8%に上がった時に，値上げしたものと，端数処理で据え置いたもの

があり、8%の時に値上げしたものについては、8%から10%の2%、8%の時に値上げしていないものについては、5%から10%の5%が上げ幅となる関係から、今回使用料が上がったもの、上がっていないものが発生している。

副教育長：消費税増税に伴う扱いについては、県庁全体で統一的な考えとなっている。

教育長：広く皆さんに使っていただきたいので、他の一般施設に比べて低く設定している。

教育長 議案第68号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第68号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第69号 徳島県立総合教育センター使用料徴収規則の一部を改正する規則  
について》

教育長 説明を求める。

総合教育センター所長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

辻委員：それぞれの設備、施設でそれぞれに使用料を決めていくのか。マイクだったらいくらか一括しては決めないのか。

副教育長：規模、規格、購入価格が違うため、使用料をそれぞれに決めており、大きな違いはないが、若干単価に差がある。

藤本委員：総合教育センターが使用できることを知らない方もいるのではないか。

総合教育センター所長：教員の研修以外にも、一般の方にお使いいただいている。

教育長：広報して、県民の方に利用していただくことも重要である。

辻委員：土日も開館しているのか。

副教育長：開館している。特に生涯学習部門は県民の方を対象とした催しを多く開催している。

教育長 議案第69号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第69号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項1 とくしま教員育成指標の一部改訂について》

教育長 報告を求める。  
教職員課長，総合教育センター次長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

教育長：今回の改訂の趣旨を大学側にしっかりと伝え，連携して取り組んでいくことが重要である。

教職員課長：指標に示している「採用時に本県が求める姿」について，大学側にしっかりと伝えてまいりたい。

辻委員：改訂の趣旨はよく理解できたが，この指標をどのように活用していくのか。

総合教育センター次長：教員が受講する研修講座の冊子等に記載し，研修の目的や目指すべき姿等について，具体的なイメージを持って受講できるようにしている。また，現場の教員に指標を配布し，各研修を受講する際，必ず指標に示されている姿に立ち返って研修するようにしている。

辻委員：人事評価との関連性はどのようになっているのか。

教職員課長：人事評価とは直接の関連はなく，全く別の議論として出発しており，各項目で示している「目指す姿」を参考するというような位置づけとなっている。

総合教育センター次長：人事評価で示している評価項目と近いものも多くあり，全く異なっているというわけでない。

辻委員：企業では，指標と人事評価は一体となっており，こういうようになってもらいたいということを明確に示し，マイナスをプラス変えるというようなことで実施している。

藤川課長：いただいた御意見を踏まえ，しっかりと共通理解を図り，教員の人材育成のために前向きに活用してまいりたい。

河口委員：採用前研修はたいへん重要であると思うが，指標についてどのような説明を行っているのか。

吉田統括管理主事：指標に特化した講義は実施しておらず，「教員としての心構え」の講義の中で，指標について説明している。

河口委員：県によっては採用前研修にかなり力を入れており，数週間実施しているところもある。第3ステージでのリーダーシップ養成研修も重要であり，この研修を通じて学校のリーダーを育成していく必要がある。

吉田統括管理主事：採用前研修は昨年度から、リーダーシップ養成研修は今年度から実施している。成果と課題をしっかりと検証し、よりよいものに改善してまいりたい。

河口委員：リーダーシップ養成研修への参加は自主的なものか。

吉田統括管理主事：地教委や校長から推薦を受けた者が受講する。

河口委員：将来の管理職候補となるような人に校長から声をかけ、積極的に受講するようにはしていただきたい。今年度、リーダーシップ養成研修を受講した者に話を聞いてみたところ、「受講する前はあまり期待していなかったが、受講してみたいへんよかった。」と言っていた。このような研修を通して管理職を育成していただきたい。

教職員課長：どのような人材を育てていくのかという視点をしっかりと踏まえて育成してまいりたい。

藤本委員：教員を希望する人が減少している。指標で「採用時に本県が求める姿」を示すことに加えて、徳島県教員の福利厚生面についてもしっかりとアピールしていく必要があるのではないか。また、総合教育センターに教員が憩えるような部屋を作ったり、悩み等を相談できる人を置いたりして、教員のメンタルケアが図れるようにしていただきたい。

教育長：カフェテリアプラン等の福利厚生事業についてまとめたものを配布するなどして、もっと積極的に伝えていく必要がある。

教職員課長：教員を募集する際の一つの切り口として、そういった面からも訴えてまいりたい。

総合教育センター次長：総合教育センターでは、教員が授業改善等についてリラックスした雰囲気の中で指導主事に相談できる「カリキュラム・カフェ（カリカフェ）」を土曜日に実施している。

教育長：これから教員を目指す人たちにどのようにして徳島をPRしていくのかということについて、しっかりと検討してまいりたい。

菊池委員：指標の評価についてはどのように行うのか。

総合教育センター次長：人事評価とは異なるものであるが、人事評価での面談等において校長が目指すべき姿や現在努力していること等について、指導・助言している。

菊池委員：校長の指導は誰が行うのか。

教育長：県立学校については教育長である私、市町村立学校においては各市町村教育委員会が行っている。県立学校長とは定期的に面談をしたり、折に触れて話をし、評価についてもしっかりと行っている。

教職員課長：研修の中でも指標の活用について、しっかり指導している。

教育長：指標の策定は、研修との一体化が目的である。総合教育センターが行っている研修には、法定研修以外に様々な希望研修がある。それらの受講にあたって、各教員が指標を活用して自身の現在の力量を認識した上で決定するというように活用する。また、校長がその教員の資質向上のために、この研修を受講してみてはどうかというようにアドバイスする際にも活用する。各ステージについて、当初は年齢で設定しようとしていたが、そうではなく、本人の自覚や管理職からのアドバイスによって柔軟にできるようファジィなものとし、自発的に研修に参加していただくようにしている。

吉田統括管理主事：先ほどの指標の評価については、ミドルリーダー研修やフレッシュ研修において、各受講者がシートを用いて自己評価し、自身の段階を確認し、目標を設定するようにしている。

総合教育センター教職員研修課長：自己評価シートは各研修の手引きに掲載している。フレッシュ研修については、その年度の評価を次への研修への課題として送るような形にしている。

[非公開]

《協議事項1 教職員人事異動に関する案件について》

《議案第67号 徳島県銃砲刀剣類登録審査委員の任命について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時40分